

第51回 東北農業経済学会・新潟大会のご案内

標記大会についてご案内申し上げます。第51回大会は新潟県において開催されることになりました。会員各位の積極的なご参加をお待ちしております。

=====
日 時 2015年8月27日(木) 編集委員会、学会賞選考委員会、役員会
8月28日(金) 大会シンポジウム、総会、懇親会
8月29日(土) 個別報告
=====

◆大会シンポジウムテーマ： 研究者は地域農業に何ができるか
—東北農業経済学会の存在意義—
会 場 新潟大学・農学部 C棟 110講義室
=====

◆大会実行委員会
委員長：清野 誠喜(新潟大学) 事務局長：伊藤 亮司(新潟大学)
=====

◆プログラム

第1日 2015年8月28日(金) 大会シンポジウム、総会
会場：新潟大学・農学部 C棟 110講義室

○受付	8:15～
○開会・会長挨拶	9:15～9:20
○来賓挨拶	9:20～9:25
○大会シンポジウム	9:30～16:00

昨年、東北農業経済学会は設立から半世紀となり、節目の年を迎えた。次ぎの半世紀へ向けた“第一歩”である本年度のシンポジウムでは、学会としての新たな方向性を考える必要がある。

そのためのひとつの試みが、昨秋、学会記念行事として開催された「東北農業・農村研究の論点を探る—未来に向けて—」(於：仙台市)であった。そこでは、以下の4つのテーマが掲げられ、学会の今後を担う若手研究者による報告と、ベテラン研究者によるコメントがなされ、活発な議論が展開された。

- 「東北農村における人と仕事—地域風土に根ざした暮らしから—」
- 「農業のフロンティア—高付加価値型農業と資源活用型農業—」
- 「誰が東北農業を担うのか」
- 「支援機関(JA・普及事業)の課題と展望」

周知の通り、本学会の特徴でかつ、強みとして「研究者だけでなく、農家や農業生産組織関係者、東北農政局や各県農政担当者、普及職員、農協等農業団体職員、ジャーナリスト等、多

様な方々が参加」していることが挙げられる※¹。「五十一歩目」を歩みだす本大会では、そのこと自体を改めて問い直し、さらなる展開を考える必要があるのではないかと。

過去3年に渡り、当学会では「3.11からの農業・農村復興」を正面に掲げて宮城・福島・岩手大会を連続シリーズとして開催してきた。そこでは「農業・農村経済問題の分野において研究面から震災復興に貢献するのが学会の使命」※²との共通の問題意識のもと、渋谷会長自ら「大震災を前に自分は何が出来るのだろうかとの自問」※³が迫られたと表現するように、われわれのアカデミズムが「現場」に寄り添うことで、何ができるのか、あるいは、行政や農業諸団体、農家との連携のもとでこそ育まれるアカデミズムの健全性が問われたのではないかと。本学会の本来の強みを活かし、それを現代的な諸課題のなかでどのように発展させるべきか、改めて議論を開始したい。

そこで今回のシンポジウムでは、「研究者は地域農業に何ができるか—東北農業経済学会の存在意義—」をテーマとして掲げ、地域農業が求める農業経済研究とは何なのか、そこでの各構成主体が抱える課題およびそれぞれの立場から見たアカデミズムへの期待（不満・注文を含めて）について出し合うことで、「現場／地域農業との連携」にもとづいた研究のあり方、そのための具体的方法などについて検討する。

※¹：東北農業経済学会HPより。「当会は当初より、「東北農業をいかにして発展させるか」という実践的な課題を共有していました。このため会員も大学や国・県の試験場の研究者だけでなく、農家や農業生産組織関係者、東北農政局や各県農政担当者、普及職員、農協等農業団体職員、ジャーナリスト等、多様な方々が参加しました。」「本会創立以来の「東北農業をいかにして発展させるか」という実践的な課題に関して、多様な会員が参加して議論を行う場という性格は、一貫して本会の運営の中心に据えられています。」

※²：東北農業経済学会ニューズレター2011春より。

※³：東北農業経済学会HP、渋谷長生「学会長挨拶」より。

座長 津田 渉（秋田県立大学）、小沢 亙（山形大学）

座長解題

第1 報告 行政・生産者および生産者団体が求める

農業経済（社会科学）研究（仮）

齊藤 了 （秋田県農林水産部）

調整中 （生産者又は農業団体等）

第2 報告 技術開発、普及の現場で求められる農業経済（社会科学）研究（仮）

調整中 （農業改良普及員）

上田賢悦 （秋田県農業試験場）

第3 報告 大学研究者等の置かれている状況と

そこでの「現場」との距離の取り方・連携の意義（仮）

小山良太 （福島大学）

渡部岳陽 （秋田県立大学）

休憩

コメント

調整中 （研究機関所属研究者）

調整中 （大学関係者）

総合討論

- 学会総会 16:00～17:00
- 懇親会（会場：新潟大学生協 第1食堂） 18:00～20:00

第2日 2015年8月29日（土） 個別報告
会場：新潟大学・農学部 C棟 各講義室

- 個別報告（会場：4会場） 9:00～12:30（予定）
報告20分＋質疑5分（報告者数により変更あり）

閉会

—お知らせ—

大会シンポジウムの報告者について現在調整中です。確定版は6月末日までに東北農業経済学会HPにてお知らせいたします。

◆大会に関する各種申し込み等について

1. 大会参加の申し込み

会場や資料準備の都合上、8月3日(月)までに、別紙申込用紙をファックスにてお知らせ下さるか、もしくは必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁)。なお、大会参加は当日も受け付けます。

シンポジウム参加費(報告要旨集代)は2,000円、懇親会参加費は4,000円(院生・学生は2,000円)を予定しております。代金は当日、会場受付にて承ります。

2. 個別報告の申し込み

大会第2日(8月29日)9:00～、個別報告を行います。次の要領で募集致しますので、ふるってご応募下さるようお願い申し上げます。

なお、個別報告は、報告時間20分、質疑5分を予定しております(報告者数により変更あり)。個別報告プログラムを8月初旬に学会ホームページ(<http://aestohoku.jimdo.com/>)に掲載しますのでご確認下さい。

(1) 申し込み方法

別紙申込用紙の「2. 個別報告申し込み」に必要事項をご記入の上、7月1日(水)までにファックス、または必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁)。

(2) 報告要旨の作成要領

個別報告を申し込まれた方は、下記要領で報告要旨を作成してください。要旨集は原則として提出原稿がそのまま原版となるオフセット印刷にて作成されますのでご注意ください。

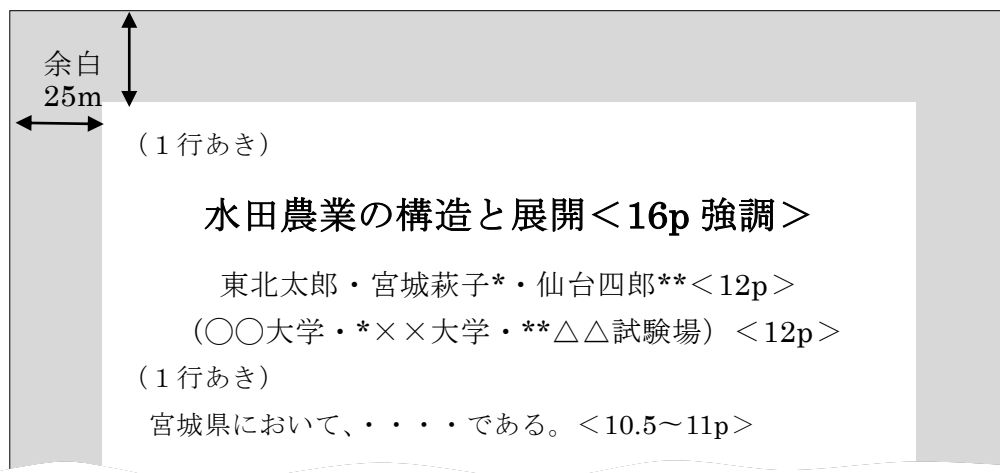
- ① A4サイズ1枚、横書き、モノクロ、余白(マージン)は上下左右25mm
- ② フォントは和文MS明朝、英字century。10.5～11ポイント。42字×36行に設定
- ③ タイトル16ポイント、強調(ボールド)、氏名と所属機関 12ポイント

※イメージは次のようになります。ご参考にしてください。

<A4用紙1枚、横書き、モノクロ>

(3) 報告要旨の提出

7月27日(月)までに、MSワード、一太郎、リッチテキストいずれかのファイルを、①CD-ROMで郵送、または



②添付ファイルでEメール送付して下さい(申し込み先は次頁)。なお、提出の際には、氏名、所属、連絡先(住所、電話番号、Eメールアドレス)も併せてお知らせ下さい。

(4) その他

①パワーポイントでの報告を希望される方は、大会第1日（8月28日、個別報告前日）に大会受付付近に用意してあるパソコンの指定フォルダにファイルをコピーして下さい。

②配布資料は40部ご用意下さい（会場ではコピーできませんのでご注意下さい）。

大会参加および個別報告の申し込み・お問い合わせ先

	締め切り	申し込み、お問い合わせ先
大会参加申し込み	8月3日（月）	〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地 新潟大学農学部 農業生産科学科 清野 誠喜 宛 TEL&FAX：025-262-6632 Email：kiyono@agr.niigata-u.ac.jp
個別報告エントリー	7月1日（水）	
個別報告要旨提出	7月27日（月）	

◆宿泊先の手配は各自でお願いします。

ビジネスホテル等の宿泊先の手配につきましては、余裕を持って行っていただきますようお願い致します。なお、新潟大学五十嵐キャンパス周辺につきましては、宿泊施設はほとんどございません。新潟駅周辺をおすすめいたします。

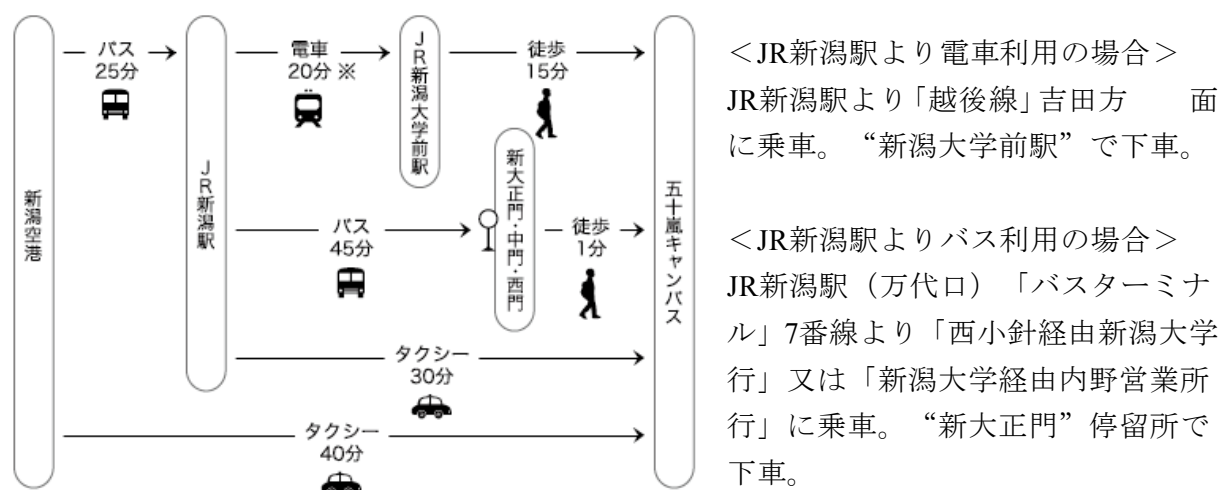
◆会場へのアクセスマップ

新潟大学農学部（新潟大学五十嵐キャンパス内）

http://www.niigata-u.ac.jp/top/access_ikarashi.html

※会場には駐車場もありますが、台数が限られておりますので、公共交通機関のご利用をお勧め致します。

住所：新潟市西区五十嵐2の町8050番地





=====<大会参加・個別報告申込みFAX用紙>=====

送信先FAX番号 025-262-6632

新潟大学 清野 誠喜 あて

※Eメールで申し込む場合は、下記の事項をテキスト入力して送付してください。
(送付先 kiyono@agr.niigata-u.ac.jp)

氏 名 : _____

所 属 : _____

電 話 : _____

Eメールアドレス : _____

1. 大会参加希望の有無 (いずれかに○印)

1) 大会シンポジウム・・・ 参加 ・ 不参加

2) 懇親会・・・・・・・・・・ 参加 ・ 不参加

3) 個別報告・・・・・・・・・・ 参加 (報告: する・しない) ・ 不参加
↳ 2. へ

2. 個別報告申込み

1) 報告テーマ _____

2) パワーポイントの使用・・・ する ・ しない (いずれかに○印)